

科目名	生物活用		学年	類型・コース	単位数
			3年	自由選択4・農業(生物と環境)	2単位
学習の目標	体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。生物の特性を活用し生活の質の向上につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
教科書 副教材	主たる教材：生物活用（実教出版） 副教材：なし				
評価	評価法	定期考査・小テスト・教科内実習・ノート・実習での態度・授業中の態度で評価します			
	評価観点の趣旨	a	知識・技術	緑のある環境・園芸・社会動物の健康効果と交流対象となる人の発達段階や健康についての基礎的な知識と技術を体系的・系統的に理解している。	
		b	思考・判断・表現	生物活用に関する課題について創造的に科学的な根拠などに基づいて創造的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	
		c	主体的に学習に取り組む態度	自ら課題解決に向けた意識をもって主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～10の10段階）にまとめます。学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～5の5段階）にまとめます。				

期	月	時数	学習項目・単元	学習内容	評価方法		
					a	b	c
1学期	4月	6	生物活用の意義と役割	生物活用の意義と役割について理解する	定期考査・小テスト・実習態度	定期考査・小テスト・実習態度	ノート提出・授業態度・服装・髪など
	5月	8	植物・園芸と人間生活	人間社会における園芸作物や社会動物の活用方法・重要性について理解する	実習態度	実習態度	
	6月	8	植物・園芸がもたらす効用	植物や園芸がもたらす効用について理解する。	実習態度		
	7月	4	動物と人間生活	私たちの暮らしと動物の活用の関係について理解する。			
夏休み							
2学期	9月	8	生物を活用した療法	生物を活用した療法について理解する	定期考査・小テスト・実習態度	定期考査・小テスト・実習態度	ノート提出・授業態度・服装・髪など
	10月	8	園芸療法	園芸療法とは何かを理解する	実習態度	実習態度	
	11月	8	世界や日本における園芸療法の実際	実際に行われている園芸療法について知る	実習態度		
	12月	4	動物介在療法	動物介在療法とは何かを知る			
冬休み							
3学期	1月	6	交流活動の心構え	交流活動におけるコミュニケーションスキルについて理解する	定期考査・小テスト・実習態度	定期考査・小テスト・実習態度	ノート提出・授業態度・服装・髪など
	2月				実習態度		
	3月						

担当者からのメッセージ（学習方法など）

授業の取り組み姿勢も評価するので提出物は期限を守り、忘れ物の無いようにしてください。